

国際地域学研究科

Open Research Center



東洋大学大学院国際地域学研究科オープンリサーチセンターの開設にあたって

東洋大学大学院国際地域学研究科オープンリサーチセンター代表
東洋大学大学院国際地域学研究科委員長 松尾友矩

東洋大学大学院国際地域学研究科にオープンリサーチセンターが開設される事になりました。オープンリサーチセンターは、文部科学省による私立大学学術研究高度化推進事業によるもので、学外の幅広い人材を受け入れるとともに、研究成果等を広く公開するなど、オープンな体制の下に、先導的・独創的な研究と高度な人材の養成とを一体的に行うプロジェクトの実施を、総合的かつ重点的に支援を行うものとされています。

東洋大学大学院国際地域学研究科に設置される本オープンリサーチセンターは、文部科学省の前記の補助事業による支援の下に東洋大学が設置するものであり、具体的には3つのプロジェクトを立ち上げることを計画しております。プロジェクトの類型としては、1) 研究者養成型、2) 高度専門職業人養成型、3) 研究成果等公開型、のいずれれをも含むものとしています。期間は5年間で予定されています。

プロジェクトの課題としては次の3つの課題を選定しました。

- ① アジア大都市圏地域を対象とした定住環境の形成・整備
- ② 環境共生社会論の体系化
- ③ 地域開発データベースと計画作成・評価支援シミュレータの開発・整備

本オープンリサーチセンターにおいて、上記のプロジェクトを計画した目的、意義は次のように述べる事ができます。すなわち、「21世紀の国際社会は、増大する人口圧力の下で、地球温暖化問題に代表される地球レベルの環境問題から身近な環境汚染の問題までの、各種の環境問題への対策を取っていくことが宿命づけられている。特に我が国と地理的、社会経済的にも関係の深いアジア



松尾教授

公開シンポジウムのご案内

「板倉のまちづくりから世界へ～地域の潮流・世界の潮流～」
～21世紀のまちづくり・地域づくりに向けて～

今日、世界の変化、地域を取り巻く流れは、さまざまな地域開発の現場でこれまでとは異なる参加型のまちづくりへの転換を促しています。現在進められている板倉町の総合計画を基に、グローバル、リージョナルの両面から21世紀のまちづくりのあり方を探ります。

- 総合司会：赤塚雄三 東洋大学教授・板倉町総合計画審議会会長
- パネリスト：「板倉と世界」松尾友矩 東洋大学教授・大学院国際地域学研究科委員長
「板倉人の教育文化」高橋一男 東洋大学教授・地域政策研究会副会長
「国際協力と板倉」宮内敦夫 東洋大学教授・地域政策研究会会長
「板倉のまちづくり」針ヶ谷照夫 板倉町町長

●コーディネーター：藤井敏信 東洋大学教授・板倉町総合計画策定委員

●日時：3月2日(土)午後1時30分～4時、4時30分より懇親会

●場所：東洋大学板倉キャンパス1101号教室(4ページ参照)

●主催：東洋大学大学院国際地域学研究科オープンリサーチセンター

●共催：板倉町

●問い合わせ：東洋大学大学院国際地域学研究科オープンリサーチセンター TEL 0276-82-9140